

日々の活動を少しだけ紹介 小島新開の家 障害者 デイサービス

この記事はいつもなら外出プログラムを紹介していますが、今回はいつもとは趣向を変え「普通の障害者デイ新開」をテーマにご紹介させていただきます。文字で説明するより写真の方が伝わりやすいと思うので下記のコメントと共にご参照あれ（柴田 涼）



音楽プログラム【毎週水】 講師：政岡先生

この時は馬屋原先生の日。歌、演奏などしています。



料理プログラム【2ヶ月に1回】 講師：スタッフ

献立はみんなで相談して行います。おいしそう！



陶芸プログラム【毎週木】 講師：藤本先生
思い思いに創作したり、統一した陶器を造ったり。芸術作品を目指して頑張っています。



水泳プログラム【毎週水、金】 講師：清水先生
【水】リハビリとして水中歩行される方。真剣に泳がれる方など様々。体力低下を防ぎ、健康な身体作りです。

緊急インタビュー - 式見藤吉さん特集！

我が人生にビリヤードあり

小島新開の家 高齢者デイサービス

最近の小島新開では利用日には必ずと言っていいほど「ビリヤードをされる式見さん」を見ます。大変好きだと耳にしておりましたが、これほどまで熱心に夢中になってビリヤードをされるとは予想だにしませんでした。そんな式見さんにビリヤードについて語っていただきました。



昭和4年【17歳】くらいの頃、ビリヤードを覚えた。でも基礎は習っていない。【プロだったら基礎をしていてピンの上に球をのせて、その球を突くことができる。うれしそうに話されます。】

他人から学んだわけじゃないから「**我流**」でビリヤードをしている。マッセ【技の名前】とかはしないがやはり球が当たる瞬間が気持ちいい、楽しい。昔は営業でお医者さんの所に足を運んでいて、そこで仕事の合間を見て【ビリヤード】をやっていた。 【左下つづく】

構えがとてもサマになっている。式見さん、奮闘中

当時は球が「象牙」で出来ていた。落としては割れることもあった。赤球は駄目だったが白球は突いていた。

賭けをしてやったり、とても楽しい。若い頃に大阪で医療器具の店員をしていた。そのころは何かも忘れてしまうほど夢中になっていて、ビリヤードをしていることが夢にまで出てくるほどだった。

インタビューして感じていたことは本当に無邪気で少年の心を持ったお方だなあと、あらためて感じました。93歳には見えません！恐れ入りました！すごい！



ビリヤードは精神的、健康的な娯楽であり、**慰安**である。とのこと。まさにその通り！（角谷 幸一）